

令和7年度 後期学校評価報告書

鬼北町立近永小学校

【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

※集計により100%に満たない場合がある。

項目	評価指標	評価	考察(◇)と改善方針(◆)	評価資料	評定	肯定率(4+3)	4	3	2	1
人間力 笑顔で挨拶ができ、思いやりの心を持った児童	①学校は、笑顔で元気よく挨拶ができる児童の育成に努力している。	A	◇ポジティブカード等の効果もあり元気のよい挨拶が増えた。 ◇低学年を中心に挨拶ができない(しない)子はくり返し声を掛けていきたい。 ◇児童会や生徒指導主事を中心として、挨拶指導を行っているが、高学年の挨拶が弱い。 ◆教師、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、登校指導等のチャンス指導を継続し、元気のよい挨拶ができるようにしたい。家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。	保護者	B	73.5%	25.7%	47.8%	23.9%	2.7%
				地域住民	A	94.7%	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%
				教職員	A	90.9%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%
				児童	A	82.9%	39.2%	43.6%	14.4%	2.8%
	②子どもたちは、話を聞くときには、相手を見てしっかり聞くことができる。	B	◇児童の評価は高く、実際に聞く姿勢はよくなってきている。話す人の方を見て、話を聞く児童は増えている。 ◇話の内容をしっかりと聞き取れる児童を育てていく必要がある。 ◆姿勢だけでなく、話の内容に意識を集中させる指導を継続して行う。話や指示をしっかりと聞き取り、行動できる児童を増やしていく。	保護者	A	83.2%	27.4%	55.8%	15.9%	0.9%
				地域住民						
				教職員	C	63.6%	9.1%	54.5%	36.4%	0.0%
				児童	A	92.8%	55.2%	37.6%	6.6%	0.6%
	③子どもたちは、相手を思いやりながら、協力し合って学校生活を送っている。	A	◇行事や掃除の時、上学年がよく世話ができている。 ◇学習発表会(たかつき集会)を経験し、協力する雰囲気が高まっている。 ◇言葉遣いが気になる時がある。トラブルの原因にもなるので、丁寧に指導や対策をしていきたい。 ◆縦割り班活動や児童会活動を通して、上学年が下学年を思いやる行動が見られる。継続して行い、よりよい人間関係を築かせていきたい。	保護者	A	90.2%	33.9%	56.3%	9.8%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%
				教職員	B	72.7%	9.1%	63.6%	27.3%	0.0%
				児童	A	94.5%	65.2%	29.3%	4.4%	1.1%
	④児童、教職員で協働して清掃活動に努め、校内・校舎の周りの環境は気持ちよく整備されている。 ※児童の問い「そうじのさしすせそを守って掃除をしていますか。」	A	◇高学年が低学年に指示できると更によい。 ◇どの学年も頑張っている子が増えている。そうじがんばり賞を渡すようにしたい。 ◆「そうじのさしすせそ」を再確認し、掃除に取り組みせるとともに、「自分たちの学校は、自分たちできれいにする。」という意識を定着させる指導を継続して行う。少人数でもできばき掃除ができる力を付けていきたい。よい伝統としていきたい。	保護者	A	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%
				教職員	A	100.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%
				児童	A	95.0%	68.0%	27.1%	2.8%	2.2%

活 力 心 身 と も に 健 康 で 、 一 生 懸 命 取 り 組 む 児 童	⑤子どもたちは、自分から進んで体力づくりに取り組んでいる。	A ◇休み時間には、外に出て遊んでいる児童が多い。昼休みには、鬼ごっこやサッカーなど、誘い合って遊んでいる。 ◇持久走記録会に目標を持って取り組むことができた。 ◇全校遊びもよかった。 ◇課外体育への参加をもっと呼び掛ける必要がある。 ◆授業で個々に体力づくりの目標を持たせるとともに、目標達成の喜びを味わわせる取組を引き続き行う。高学年を中心に、課外体育への参加について各学級でしっかり声掛けをしていく。また、家庭での運動習慣も定着できるように啓発していく。	保護者 B 71.7% 33.6% 38.1% 26.5% 1.8% 地域住民 教職員 A 80.0% 0.0% 80.0% 20.0% 0.0% 児童 A 82.9% 57.5% 25.4% 13.3% 3.9%
	⑥子どもたちは、行事や体験活動に意欲的に参加している。	A ◇学習発表会（たかつき集会）等の行事ごとに児童が生き生きと取り組み、力を付けてきた。達成感、満足感を得た児童も多かった。 ◇太鼓クラブは今年度は地域の指導者の協力を得ることができありがたかった。少人数ではあるが一生懸命演奏する姿を皆さんに見ていただくことができた。 ◆児童の視線で行事や体験活動を見直し、よりよいものにしていきたい。また、地域に出て学ぶ機会も積極的に計画し取り入れていきたい。	保護者 A 96.5% 48.7% 47.8% 3.5% 0.0% 地域住民 教職員 A 100.0% 60.0% 40.0% 0.0% 0.0% 児童 A 87.8% 65.6% 22.2% 11.1% 1.1%
	⑦子どもたちは学校へ行くのを楽しみにしている。	A ◇学校生活に前向きに取り組む児童が多い。また、外遊びを楽しむ児童も多く活気がある。しかし、児童・保護者の評価に「2」と「1」が一定数あり、学校を楽しみにしていない児童の存在が課題である。個別の対応も必要である。 ◆目的や目標を明確にし、学校生活を送らせたり、下校の時に、明日のイベント等を知らせ、明日の学校が楽しみになるようなお知らせをしたりするなどの工夫をする。必要に応じて、家庭と連携し、児童の気持ちに寄り添って対応をしていく。	保護者 A 89.3% 36.6% 52.7% 8.9% 1.8% 地域住民 教職員 A 100.0% 11.1% 88.9% 0.0% 0.0% 児童 A 84.4% 51.7% 32.8% 11.7% 3.9%
	⑧自己有用感や所属感を感じられるような、豊かな人間関係や温かみのある学級づくりに努めている。	A ◇学級担任は、一人一人を大切に授業や学級活動を行うよう心掛けている。しかし、うまくできていないと感じている者もいる。 ◇ポジティブカードの取組によって、前向きな姿勢を評価することができ児童の励みになっている。 ◆人と関わり、成功したり失敗したりしながら成長できる機会をつくる。認め合い支え合う集団づくりを目指す。さらに、ポジティブカードの取組を継続し、学力・体力・コミュニケーション能力の向上を図り、総合的に健全育成を目指す。	保護者 地域住民 教職員 A 88.9% 22.2% 66.7% 11.1% 0.0% 児童 A 94.5% 61.9% 32.6% 3.9% 1.7%

基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ児童	⑨子どもたちは、進んで読書をしている。	C ◇保護者の肯定率が低い。個人差はあるものの、読書冊数は増えており、図書室利用の習慣も身に付きつつある。家庭では読書をしていないことがうかがえる。 ◇児童が本に興味を持てるよう、図書委員会が読書ビンゴの企画をした。保護者にも呼び掛け、保護者の協力も得られた。よいきっかけとなった。 ◆学校での読書活動の取組を家庭に知らせるとともに、家庭での読書を奨励する。また、図書委員会を中心に、児童が本に慣れ親しむ企画や環境づくりを行う。	保護者	D	50.4%	16.8%	33.6%	30.1%	19.5%
			地域住民						
			教職員	A	88.9%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%
		児童	B	70.2%	44.2%	26.0%	21.5%	8.3%	
	⑩子どもたちは、授業中や集会活動で、自分の意見を進んで発表している。 ※保護者の問い「お子さんは、自分の考えや思いを家庭で伝えることができている。」	B ◇学習発表会（たかつき集会）への取組を通して表現力の育成に取り組んだ。行事を通してそれを授業に生かしていく取組ができた。しかし、授業では、自分から進んで発表できる児童とできない児童の二極化が見られる。 ◇グループでの話し合い活動では、自分の意見や考えに自信を持って発表し、それを認め合う関係ができてきている。 ◆集会やグループ活動だけでなく、一人一台端末等を使用して児童の発表意欲を高める方法を工夫していきたい。	保護者	A	85.0%	42.5%	42.5%	10.6%	4.4%
			地域住民						
			教職員	B	72.7%	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%
			児童	C	60.8%	35.4%	25.4%	31.5%	7.7%
	⑪子どもの家庭学習の習慣が身に付いている。（学年×10分＋α） *は忘れ物に関する問い	B ◇ほとんどの児童が家庭学習の習慣が身に付いてきている。引き続き、家庭と連携し、さらに家庭学習の習慣が身に付くよう継続して指導していかねばならない。 ◇家庭でのタブレットの活用について、使用の仕方のルールを再確認する必要がある。 ◆家庭の協力・確認によって確実に学習習慣が身に付くようにしていく。ゲーム時間によっても左右されるので、PTAで作成した「スマホの約束」の内容がしっかりと共有されるように呼び掛けていく。	保護者	D	59.3%	14.2%	45.1%	31.0%	9.7%
			地域住民						
			教職員	B	71.4%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%
			児童	A	93.3%	74.4%	18.9%	5.0%	1.7%
			*保護者	A	83.9%	42.0%	42.0%	14.3%	1.8%
		*児童	A	84.0%	55.2%	28.7%	13.8%	2.2%	
	⑫ ICTを活用した授業改善に取り組むとともに、楽しく分かる授業の実践に努力している。 ※保護者の問い「お子さんは、授業は分かりやすいと言っている。」	A ◇児童がタブレットの使用に慣れ、授業で有効に活用できるようになった。 ◇授業研究、ICT研修等の校内研修が充実し、楽しく分かる授業を目指して、全職員で授業改善に取り組めた。 ◆楽しく分かる授業を目指し、組織的に授業改善に取り組む。ICTを使用する授業と、アナログでの授業の融合を目指し、校内研修の充実を図る。	保護者	A	89.4%	31.7%	57.7%	10.6%	0.0%
			地域住民						
			教職員	A	90.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%
			児童	A	97.8%	84.5%	13.3%	1.7%	0.6%
	⑬子どもたちは、忘れ物や宿題忘れをせず、朝学習や補充学習、自主学習に意欲的に取り組んでいる。 ※保護者の問い「学校は、補充学習や宿題、自主学習など子どもの学力向上に努めている。」 児童の問い「朝学習や補充学習に進んで取り組んでいる。」	A ◇忘れ物や宿題忘れについては、家庭の協力もあり、少しずつ減ってきているが、個人差がある。 ◇児童は、静かに朝学習、補充学習に取り組んでいる。専科教職員も各学年に入り、個別指導を行い、個々の学力定着を図っている。 ◆朝学習や補充学習は、全教職員で学力定着を目指し取り組む。実施内容を工夫して児童の学力の定着・向上に努める。引き続き、宿題忘れや個別指導が必要な児童への対応は、家庭と連携して行う。	保護者	A	97.2%	43.9%	53.3%	1.9%	0.9%
			地域住民						
教職員			A	85.7%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	
児童			A	95.6%	70.7%	24.9%	2.8%	1.7%	

コミュニティ・スクール 地域の力を活用した学校づくり	⑭子どもは、「朝の歯磨き・洗顔・朝ご飯」の習慣が身に付いている。 *はゲーム時間、就寝時間に関する問い	B	◇家庭への呼び掛け、児童への指導を行ってきた。洗顔、寝癖などの身だしなみが不十分な児童がいる。 ◇早寝、早起きを奨励し、朝の時間に余裕を持たせたい。 ◇視力低下も心配な状況があるため、学校での遠方凝視を継続する。 ◆歯磨き、洗顔、朝ご飯が習慣となるよう、家庭への呼び掛けを行う。また、養護教諭を中心に、朝ご飯の大切さを指導する。 ◆ゲーム時間、就寝時間は、家庭でのルールづくりの徹底を呼び掛けるとともに、PTA作成の「スマホの約束」が定着できるよう、家庭へ呼び掛ける。	保護者	A	89.4%	53.1%	36.3%	9.7%	0.9%	
				地域住民							
				教職員	A	90.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	
				児童	A	97.8%	79.6%	18.2%	2.2%	0.0%	
				*保護者	D	57.5%	15.9%	41.6%	36.3%	6.2%	
				*児童	A	86.1%	58.9%	27.2%	7.8%	6.1%	
	⑮学校は、安全・安心な学校づくりに努めている。	A	◇手洗い、消毒等、感染症予防が定着している。 ◇安全な登下校について、教頭や生徒指導主事を中心に指導を行ってきた。地域の方の協力もあり、児童が安全に登下校できている。 ◆保護者、地域の方の協力を得ながら、児童が安全に登下校できるよう、見守りを行う。教頭、生徒指導主事を中心に定期的な登下校指導を継続していく。	保護者	A	96.3%	54.1%	42.2%	3.7%	0.0%	
				地域住民	A	100.0%	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	
				教職員	A	100.0%	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	
				児童	A	96.1%	80.7%	15.5%	2.8%	1.1%	
⑯子どもたちの学習していることや活動の様子を、学校・学級だよりやホームページ等で知らせている。 ※児童の問い「学校から配られた文書や通信は、すぐ家の人に渡し、読んでもらっていますか。」	A	◇ホームページを日々更新することを心掛け、児童の活動や学校の様々な情報を発信することができた。 ◇読みやすい紙面を工夫し、学級だより、学校だよりを作成することができている。 ◆児童には学校からの文書を家の人に必ず渡す、保護者には確認するということを呼び掛ける。 ◆学校の情報を分かりやすく伝えることを意識して、ホームページ、学級だより、学校だよりを作成する。	保護者	A	99.1%	60.2%	38.9%	0.9%	0.0%		
			地域住民	A	94.4%	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%		
			教職員	A	90.9%	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%		
			児童	A	88.4%	58.6%	29.8%	9.4%	2.2%		
⑰学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っている。 ※児童の問い「家の人に学校のことや友達のことを話していますか。」	A	◇地域に出て学ぶ活動機会が増えて有意義だった。 ◇依然として親子間の会話がないことが分かる。特に、児童から話し掛けることが少ない。 ◆PTAの会議等で、親子での会話を大切にすよう、呼び掛ける。	保護者	A	94.5%	54.5%	40.0%	3.6%	1.8%		
			地域住民	A	94.1%	70.6%	23.5%	0.0%	5.9%		
			教職員	A	100.0%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%		
			児童	A	88.3%	68.3%	20.0%	7.2%	4.4%		

	評価委員の意見	学校の対応
人間力 ① ②	<p>○挨拶や言葉遣いは、人間関係を構築していく上で大切なことだと思うので、学校と家庭・地域と一緒に取り組んで行くことが大切だと考える。</p> <p>○人権講演会の講師の方の話術が見事であった。人を惹き付ける話し方を教師も研修していくことが大切ではないか</p>	<p>○教師、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、登校指導等のチャンス指導を継続し、元気のよい挨拶ができるようにしたい。家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。見まもり隊の方々にも、協力を呼び掛けていきたい。</p> <p>○話し方についての研修を実施したい。また、児童には姿勢だけでなく、話の内容に意識を集中させる指導を継続して行う。話や指示をしっかりと聞き取り、行動できる児童を増やしていきたい。</p>
活力 ⑧	<p>○参観授業の際には、積極的に発表する児童の姿が見られた。日々の指導の成果を感じた。また、前向きに授業に取り組む姿勢も見られた。</p>	<p>○「ポジティブカード」の取組の成果が現れてきていると感じている。これからも前向きに行動する具体的な姿を賞賛することで、更なる行動の変容につなげていけるように努めていきたい。</p>
学力 ⑨ ⑩ ⑫	<p>○読書活動については、興味を持った事があった時にすぐに興味を持った本が手に取れる環境があるとよいのではないか。また、読書冊数などは「見える化」する事で効果が上がるのではないか。</p> <p>○ICTの活用が進むことで、文字離れすることを懸念しているが、何か対応は考えているか。</p>	<p>○国語科の学習単元に応じた「並行読書」の取組を行った学年もあった。また、「読書ビンゴ」の際には保護者にも参加を呼び掛けることで、読書への意欲喚起ができた。</p> <p>○日々の授業の中で、「デジタルとアナログのベストミックス」を心掛け授業に取り組んでいる。ICTを活用した方が効果的であるのか、それとも、具体的な操作活動などの方が効果的なのか吟味しながら授業構成を考えている。授業研究等を通して、よりよい活用方法を探求している。</p>
CS ⑮	<p>○予告なしの避難訓練について、児童自らが考え危険回避行動ができていることは素晴らしい。小学校だけでなく、保育園からの指導が継続していることがよい成果につながっているのだろう。教職員も児童も失敗を積み重ねる中でよりよい避難の仕方を身に付けることが大切でないだろうか。</p> <p>○第1回目の学校運営協議会で熟議を行ったことで、学校と地域が協力して進められる取組が具現化できたものがあり、成果が感じられた。</p>	<p>○継続して、具体的な危険回避行動が身に付くような訓練の在り方を研修していきたい。「自分の命は自分で守る」という意識の向上に努めていきたい。</p> <p>○熟議を通していろいろな取組のアイデアをいただくことができた。いただいたアイデアを更に具現化できるように努めていきたい。</p>